

概 況

1. 畜種別取扱高

平成 11 年中の東京都中央卸売市場食肉市場における畜産物の総取扱高は、頭数約 47 万 4 千頭、重量約 9 万トン、金額約 954 億 9 千万円となっており、前年と比べ、頭数で 1.2%減、重量で 1.2%減、金額で 7.2%の減となった。

畜種別に見ると、牛の取扱高は、頭数約 14 万 6 千頭、重量約 6 万 3 千トン、金額約 842 億 2 千万円で、前年比は頭数で 0.2%減、重量で 0.7%増、金額で 5.8%の減であった。

豚の取扱高は頭数約 32 万 8 千頭、重量約 2 万 7 千トン、金額約 112 億 7 千万円となっており、前年比は頭数で 1.6%減、重量で 5.4%減、金額で 16.5%の減であった。

(参照 表 1)

2. 産地別取扱高

牛では、頭数・重量は栃木県が約 2 万 5 千頭、約 1 万 400 トンを出荷し、前年の第 1 位であった千葉県と入れ替わり第 1 位となった。栃木県の頭数は前年比で 8.7%上回り、重量も 11.6%増となった。

また、栃木県の食肉市場全体に占める割合(以下、この項において「構成割合」という)は、頭数で 17.1%、重量で 16.6%に及んでいる。第 2 位は千葉県、第 3 位は頭数で宮城県、重量で茨城県となったが、宮城県は頭数・重量とも前年実績を上回り、頭数で 4.8%増、重量で 5.5%増となった。

金額では、栃木県が約 135 億 4 千万円で 5 年連続第 1 位となり、構成割合は 16.9%となっている。以上栃木県・千葉県・宮城県・茨城県の 4 県に岩手県を加えた 5 県の構成割合は頭数で 63.0%、重量で 59.5 %、金額で 59.2%とそれぞれ全体の 6 割前後の扱いとなった。

輸入部分肉は、前年実績から重量で 1.6%減少し、金額で 6.3%減少した。また、豪州・米国の 2 カ国の輸入重量で全体の 99.9%を占めている。

豚では、千葉県が頭数・重量・金額とも前年同様第 1 位となったが、前年と比べ頭数で 5.7%・重量で 5.1%・金額で 10.7%それぞれ減少した。千葉県・茨城県・岩手県の上位 3 県の構成割合は、頭数 69.7%、重量 64.2%、金額 62.5%とそれぞれ全体の 6 割を超えている。輸入部分肉は重量で 3.3%増、金額で 12.2%の減となった。

(参照 表 1~2)

3. 年間市況

牛の全国取引頭数(成牛)は、約 132 万 1 千頭で、対前年比 0.8%増となっており、このうち東京都食肉市場の取引頭数は、約 14 万 6 千頭で全国取引頭数の 11.0%を占めている。

東京都食肉市場における牛の年間平均価格は、1kg 当たり 1,329 円で、前年に比べ 93 円(6.5%)安となっている。これを月別に見ると、1 月は、1,341 円と前年同月より 97 円安く始まり、2 月以降も前年同月を下回り、12 月の 1,470 円を除くと 1,200 円台から 1,300 円台を推移し、前年と比べ弱含みであった。

豚の全国取引頭数は、対前年比 1.2%減の約 1,687 万頭となっており、このうち東京都食肉市場の取引頭数は、約 32 万 8 千頭で全国取引頭数の 1.9%を占めている。

東京都食肉市場における豚の年間平均価格は、1kg 当たり 406 円で前年に比べて 53 円(11.5%)安となっている。これを月別にみると、1 月は 362 円と前年同月より 75 円安く始まり、8 月には前年同月を上回ったものの、それ以外は前年同月を下回った。8 月に年間の最高値 484 円を付けた。これを前年 6 月の前年最高値と比べると、82 円(14.5%)下回っている。年間を通し、平均価格は前年と比べ弱含みで推移した。